教科	科目名	学年	単位数	必修　選択
国語	古典探究	2	2	必修

到達目標	代表的な古典作品を読み、人間や社会・自然について、自分の考えを深め発展させる。作品に描かれた人物、心情、情景などを読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を深めて、人生を豊かにする。

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	(1) **古文（物語①）**「伊勢物語」等	1 年次で学習した文法事項が理解できているか改めて確認する。〈助動詞・助詞〉	
1学期期末	(2) **古文（随筆①）**「枕草子」 「方丈記」等	本文の意味を理解するだけでなく、敬語について学習し、和歌を解釈するための修辞法を身につける。〈敬語・和歌の修辞法〉	
2学期中間	(3) **漢文（史話①）**「史記」 (4) **古文（物語②）**「大鏡」等	使役・反語などの句法を学ぶと共に、再読文字について復習する。〈再読文字・句形〉 歴史物語における人物の描かれ方に触れると共に敬語法を習得する。〈敬語法〉	
2学期期末	(5) **古文（物語③）**「源氏物語」	古典の最高峰の作品に触れて人間や社会・人生について、自分の考えを深める。 精確な現代語訳をすることができる。〈品詞分解〉	
学年末	(6) **古文（日記①）**「更級日記」等 (7) **古文（和歌①）**「古今和歌集」等	その本文にとどまらず、日記が書かれた時代背景や引用された作品など多角的に考えながら本文を読む。 掛詞など和歌の修辞法を意識する。〈品詞分解、和歌の修辞法〉	

評価方法と評価のポイント	知識・技能・・・定期考査（読解のための知識が身についているか） 思考・判断・表現・・・定期考査（作品を読解し、考えを説明できているか） 主体的に学習に取り組む態度・・・提出物など（授業中に積極的に取り組んでいるか）

教科からのアドバイス

普段からの音読、授業前の予習（本文を写す・単語を調べる・訳す）、授業後の質問、復習といった学習習慣が大切です。